



ジャパンネット銀行は2000年10月の営業開始以来、ネット社会の進展に伴うお客さまの新たな金融ニーズに最適な金融商品・サービスをご提供し、ネット社会にふさわしいネット専門銀行のビジネスモデルを創造・構築することを目指しております。

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

2014年度中間期の業績

2014年度中間期は、普通預金口座数は前年同期比19万口座増加し272万口座、預金残高は前年同期比310億円増加し5,499億円、決済取扱件数は前年同期比485万件増加し5,313万件となりました。業績につきましては、業務粗利益が55億100万円、経常利益が10億6,400万円、当期純利益が7億円となりました。

新たな経営戦略

2014年4月、ヤフー株式会社(以下「Yahoo! JAPAN」)は、ジャパンネット銀行の第一種無議決権株式(取得条項付株式)に代えて普通株式を取得し、普通株式保有割合が12.18%から41.16%となったことにより、銀行法に基づくジャパンネット銀行の銀行主要株主となりました。Yahoo! JAPANとは従来に増してより強力に連携し、経営基盤の強化、画期的なネット銀行サービスの開発、提供を図って参ります。

また、2014年7月には、株式会社ファミリーマート(以下「ファミリーマート」)と、コンビニエンスストアとネット銀行の新たな提携を検討していくことで合意いたしました。

Yahoo! JAPANは、月間約2,800万アクティブユーザーIDを持つ日本最大のポータルサイトであり、ファミリーマートは国内店舗数約1万1千店舗、1日当たりの全店来店客数約1千万人を超える大手コンビニエンスストアです。Yahoo! JAPANの銀行主要株主化並びにファミリーマートとの提携は、ジャパンネット銀行にとって、営業基盤の拡充・新たなネット銀行サービスの創造を通じ、飛躍的成長を展望できる重要な経営戦略だと認識しており、提携事業の具体的実行に向けて大きく舵を切っていく所存です。

お客様の利便性向上と安全性向上に向けて

「ネット専業銀行らしい便利なサービス」だとお客さまに喜んでいただけるよう、役職員一同が日々、お客さまのご要望・ニーズを分析し、ユーザビリティの改善・商品サービスの改善に、悪戦苦闘しながら取り組んでおります。まだまだご満足いただけないことも多々あるかと思いますが、細かい点にこだわり改善を積み重ねていくことが、品質というFactとなり、ネット専業銀行の存在意義・存在価値を広くご認識いただくことになるものと信じ、継続して努力して参ります。

なお、新たな商品・サービスとして、2014年4月にパソコン・スマートフォンのトップページをリニューアル、同年5月に「外貨預金(普通預金9通貨、定期預金8通貨)」の取扱開始、同年7月には「ヤフオク!」で「Yahoo!かんたん決済 銀行振込」を取扱開始、同年10月には株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークスとATM利用提携を開始しております。

お客さまに安心してご利用いただくためのセキュリティ対策強化として、2014年10月にVisaデビットご利用時の第三者不正利用を防ぐ「VISA認証サービス(3-Dセキュア)」を導入しました。また、昨今国内の銀行でインターネットバンキングにおける不正出金被害が増加している状況を受け、2015年4月には、IDカードによる認証を廃止し、取引認証方法をトークン形式のワンタイムパスワードに統一させていただく予定です。

これにより、全てのお客さまに対し、国内銀行最高水準のセキュリティ対策をご提供できるものと考えております。

引き続きのご愛顧、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年1月

代表取締役社長 小村 充広

※外貨預金の重要事項については、P16をご覧ください。

ジャパネット銀行のロゴについて



大小の点と点を結んだ図は、人とネットワークの融合をイメージしています。ジャパネット銀行がインターネット上のさまざまな場面で、お客さまの生活を便利にする金融サービスを展開していくことを、表現しています。